

- ・ 教えられなかった戦争
- ・ セミのおくりもの
- ・ 線状降雨帯・内水氾濫 早めの避難を！
- ・ 震災復興支援コンサート盛大に

冊子紹介 藤沢クマゼミ調査研究会 著

めずらしい写真がいっぱい

セミのおくりもの

— 10年間の調査報告 —

平塚、茅ヶ崎とクマゼミの東進が報じられる中で、藤沢に到達するのはいつかとセミへの興味のある者にとっては関心の的でした。単数のぬけがらや鳴き声の報告はしばしばありましたが、継続して複数個のぬけがら発見には至りませんでした。2010年、県立辻堂海浜公園にて200個余のクマゼミのぬけがらが見つかりました。

それ以来、10年一日の如く、セミを追ってメンバーそれぞれが興味のおもむくままに調査、研究した幾つかのデーターを基にし、こどもたちや中学校の科学部の生徒や先生方、市民の方々の協力を得、藤沢の自然誌資料として残すことを試みたのがこの冊子です。

冊子は「セミのことなら全部わかる」を編集方針とし、小学校中学年から読者対象と考え、飽きの来ないように興味をつなげ、読みやすさを心掛け、以下の章立てをしました

セミを見続けた記録編

第1章：藤沢にはどんなセミがいるのかな

第2章：ついに来た!! 藤沢にもクマゼミ

第3章：藤沢市のセミのぬけがら調査

第4章：セミの一生をたどってみよう

こんな情報はいかがでしょう

第5章：セミの世界をのぞいてみよう

第6章：人と自然のかかわり

第7章：資料

編集では写真を多用し138ページの中に290枚余の写真をあしらい、特に第4章「セミの一生をたどってみよう」では24ページの中にセミの生態を詳細に撮影した今までにはなかなか見られないような写真120枚

余を入れ込み、読むとともに見て楽しむ冊子が出来上がったと自負しております。

身近なセミについては知っているようで知らないことがかなりたくさんあります。

冊子に取り上げている幾つかあげてみましょう

- ① 藤沢市内には何種類のセミがいるのでしょうか？
- ② セミはどこに卵を産むのでしょうか？
- ③ 腹部にでべそ様の凸部がある幼虫は何ゼミ？
- ④ 多くのセミが好む気候は？
- ⑤ 卵から幼虫になる（ふ化）のはいつ頃？
- ⑥ 幼虫の生活場所はどこ？
- ⑦ 羽化（幼虫から成虫へ）は夜間に行われます。なぜでしょう？
- ⑧ セミの食物はなんでしょう？
- ⑨ セミは食べられますか？
- ⑩ 天気予報で藤沢の気温が出てきますが、気温を測っている場所はどこでしょう？

冊子にはこんな話題などなどが収められています。

市内の小・中・高等学校、図書館などの公施設に贈呈し、こどもたちをはじめ多くの方々の目に触れやすくをこころがけました。

是非お手に取っていただけましたらありがたいです。

冊子は8月1日から湘南台文化センターこども館にて¥1,500にて販売しています。

（自費出版につき、印刷部数も少なく残部は多くはありません。品切れの際はご容赦ください）



（文責：クマゼミ調査研究会 大谷房江）

「教えられなかった戦争・沖縄編」上映会

6月24日と26日にエコストアパパラギ2階ホールで映画上映会が開催された。上映されたのは、『教えられなかった戦争・沖縄編』（高岩仁監督・1998年製作）。25年も前のドキュメンタリー映画だが、2023年の今に通じる大切なものがたくさん詰まった作品であった。

沖縄の伊江島で命と土地を守る闘いの先頭に立ち続けた阿波根昌鴻（あはごん しょうこう）の歩みを軸に、戦前戦後の沖縄の歴史をたどる110分は、次から次へと自分が知らない事実が展開する、まさに一瞬たりとも目が離せない、濃厚な時間となった。伊江島の人たちの歩んできた道を知ることが、今の沖縄で生きるとはどういうことかを考える貴重な機会にもなった。

阿波根さんは、人々の日々の営みを心から愛し、土から生まれる命の大切さを知る人だった。朝起きて、ご飯を食べ、畑を耕し、家族との時間を楽しみ、明日を思う——島に暮らす農夫たちの、小さな幸せを守るために命がけで闘った人だった。映画の終盤のシーンで、修学旅行で伊江島を訪れた若い人たちに、ゆっくりとしたやわらかい口調で、平和について語る阿波根さんの姿がとても印象に残った。

また、上映後にネパリ・バザー創設者の土屋春代さんのお話が聞けたことも貴重であった。1991年にネパールのこどもたちの育成と女性の自立支援を目的に活動を始められた土屋さん。2015年から沖縄でも「沖縄力カプロジェクト」という、沖縄に新たな産業を興し、障がいのある人や一般就労が困難な人の仕事の機会を生み出す活動もなされている。伊江島のこと、沖縄のことを、わかりやすく、やさしく、お話しくださった。土屋さんのお話を聞き、根っこにあるものは阿波根さんと同じなのだなあと感じた。一人ひとりの命の尊さ、日々の営みを慈しむ気持ち、人が人に手を差し伸べるということ…阿波根さんと土屋さんが繋がっていると思ったのは私だけではなかっただろう。

（藤岡みどり）



線状降水帯・内水氾濫 早めの避難を!!

（前号の続き）

大雨による災害は近くに河川がない地域や市街地でも、大量の雨に対して排水機能が追いつかず、処理きれない雨水で土地や建物が浸水する内水氾濫が増えています。

東京都の水害被害額（H7～H16年）は、外水氾濫（河川氾濫）64億円、内水氾濫1,018億円で河川氾濫より、内水氾濫の方が大きい。我が藤沢市ではどうだろうか？

内水氾濫の原因のひとつに、地表がアスファルトで舗装されるなどして、地盤の貯水能力が下がっていることが挙げられます。このため、内水氾濫は土地の大部分が舗装されている都市部や住宅地で起こりやすい。河川の近くでなくても市街地で短時間に激しい雨が降ると、下水道や水路の排水能力を超えてしまい、家のすぐそばや道路が浸水して危険な状況になります。

藤沢市の防災ナビ、ハザードマップにも内水氾濫の危険箇所が示されています（今後、水道法に基づく精度の高いものに改善）。「内水ハザードマップ」をしっかりと確認しましょう。とにかくリスクの見える化が重要です。

街のインフラを見直し、“内水氾濫”のリスクを減らすという取り組みも始まっています。熊本県立大学の島谷幸宏教授は、コンクリートやアスファルトに覆われた街を生まれ変わらせる「グリーンインフラ」といい、雨水を浸透すると地下水が増えていくことで生物の生息場になったり景観がよい、あるいはヒートアイランド現象の緩和、熱中症対策、さらにはCO2を吸収する温暖化対策の効果も期待できます。

雨水浸透ますの設置やアスファルト舗装道路を多孔質に替えることによって、雨水を地中にしみ込みやすくすることが有効です。横浜市では雨水浸透ますを設置する場合、設置費用の一部を市が助成します。

自然に吸収させるには、各家庭で小さい雨水浸透ますをたくさん作ることです。浸透のスピードは緩やかに、少量ずつ、数多くの箇所で行われることが重要なのです。

このことから、戸建て住宅において雨樋から落ちてきた水を集める場所に雨水浸透ますを設置することが一般的です。雨樋から集まってきた雨水を受ける場所

（次ページへ）

『ます』に多数の穴をあけ、周囲を荒い碎石で覆い、ゆっくりと土に浸みこませるようにした工夫が雨水浸透ますの基本的構造です。



(気候危機アクション藤沢 宮地俊作)

震災復興支援コンサート

「第11回震災復興支援コンサート」が猛暑の中7月17日に開催された。コーラスありフルート演奏あり、朗読ありと7団体がそれぞれ演奏し、3.11大震災と放射能について改めて考える機会になったことは素晴らしかった。今回は今までになく会場いっぱいの参加者で溢れた。



特に子どもたち27人が元気よく舞台上で八木節とソーラン節を踊り大喝采、参加者は高齢者が多かったため「元気をもらえた」との感想が多かった。そして画家の山内若菜さんは「福島の実況」をスライドで紹介、南相馬市小高区にある「伝承館」の天井絵を作成に奮闘したことや、何度も福島へ足を運び描いた絵とトークで改めて福島への思いを伝えて頂いた。福島県楡葉町の宝鏡寺を訪ねた江成さんたちは、原発建設に反対し続け昨年末に命を落とした早川篤雄さんの思いを詩にして朗読、偲んでお借りした作務衣が飾られていた。

最後はいっしょに「青い空は」「さんぽ」「花は咲く」を合唱し会場が1つになったコンサートであった。

この収益金は福島復興や支援している団体に毎年寄付し大変喜ばれているので今後もぜひ続けてゆきたい。

(荒井)

ECONET INFORMATION

▲街頭 原爆展

8/6(日)16:00-17:00 藤沢駅北口

8/9(水)16:00-17:00 辻堂駅北口デッキ

主催：ピースリレーふじさわ

▲ふじさわ・不戦の誓い平和行動

市民と議員で不戦の誓いを訴え平和をうたう

8月15日(火)16:00-17:00 辻堂北口デッキ

ご一緒に参加を！(連絡先 090-9019-1350 植木)

▲映画「原発をとめた裁判長」

9月30日(土) 午前の部 10時上映のみ

午後の部 13時上映と監督のトーク&樋口元裁判

長の講演 場所=Fプレイスホール(旧労働会館)

チケット 1500円 当日券 2000円

主催/実行委員会 090-3439-2431 益永

▲親子環境バスツアー

タツノ横浜工場ほかSDGsに取り組む工場見学

8月23日(水) 8:30~16:30

小学生と保護者20人(抽選)8月14日までに

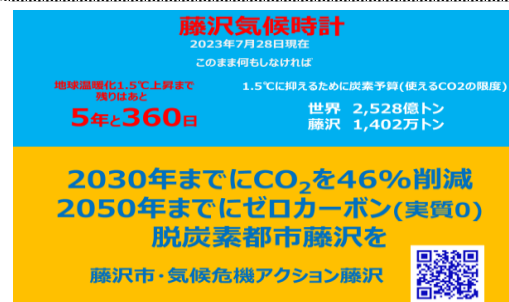
faxなどで申し込みを 市HP参照

主催 市環境総務課 fax0466-50-8417

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 8月5日(土)10:00-六会公民館



《編集後記》猛暑はいつまで続くのか。今夏八王子で39.1度を記録した。異常気象は止まらない。熱中症対策十分に！関西電力は国内最古の48年超えの高浜原発を再稼働！中国電力は山口・上関に核燃料中間貯蔵施設の計画！福島原発の放射能汚染水を薄めて海に流す計画は、海外から海産物等の検査を厳しく求められ、輸出に支障をきたしている。いったい国は、国民の命、暮らしを守る気があるのだろうか？(A)